

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 木村 紀子

最終学歴	昭和41年3月奈良女子大学文学部国語国文学科卒業
取得学位	
所属学会	日本口承文芸学会・中世文学会・仏教文学会
現在の専門分野	言語文化論・意味論
研究課題	意味論的視点からの古代（鎌倉以前）言語文化の研究

【研究上の特記事項】

著書（別記・ ）のための研究・整序・執筆活動に専念した。

【学内活動】（学内職歴を含む）

就職委員会委員・人形劇「だいぶつ」顧問

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ヤマトコトバの考古学	単著	2009年7月 (予定)	平凡社	古代日本語について、主として同義異音名詞・地名・人名等にかかわって、文献以前の生成・混成の実態を解明した。
原始日本語のおもかげ	単著	2009年8月 (予定)	平凡社新書	現代日本語の種々の表現・用語にも、数千年来の原始列島語ともいべき言葉が生きつゞけていることを解説した。